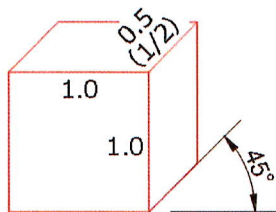
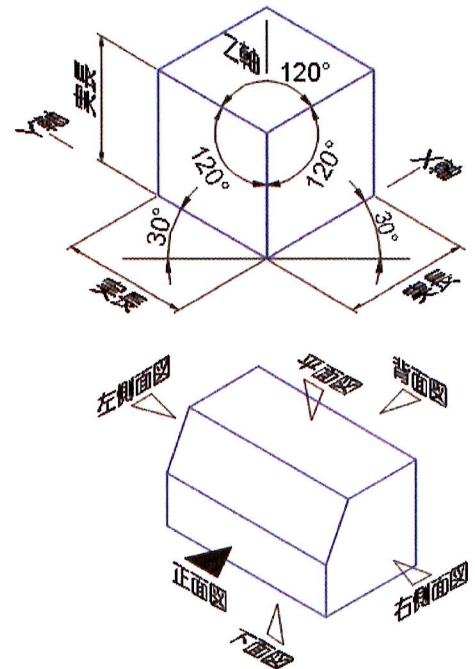


[3-5] 等角投影 (アイソメトリック)

- ・三面を同時に見ることができるので、
立体的な図形として表すことができます。
- ・X軸、Y軸、Z軸が互いに120°の角度であることから
等角図と呼ばれています。
- ・X軸、Y軸、Z軸とも実寸法で表すことができます。

平面図だけでは、立体イメージができません。
正面図と側面図を1面ずつ追加すると立体イメージが出てきます。

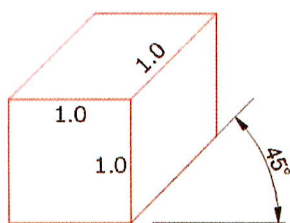
三次元的な図としては、
等角図 または カビネ投影 (キャビネット投影) があります。



カビネ投影図
(キャビネット投影)

■ カビネ投影 (キャビネット投影)

- ・対象物の正面を、画面に対して平行に配置し
斜め方向に対象物を投影したように表現したものです。
- ・奥行の角度線は、45°が多用されています。
- ・奥行方向の投影尺度は、1/2 (0.5) です。



ガバリエ投影図

■ ガバリエ投影

- ・対象物の正面を、画面に対して平行に配置し
斜め方向に対象物を投影したように表現したものです。
- ・奥行の角度線は、45°が多用されています。
- ・3軸 (X,Y,Z) とも実長としています。

等角図 / キャビネット投影 / ガバリエ投影 表示方法が違います。

- 建築では、1住戸の平面図を等角図で立体的に表現できます。
- 電気設備、給排水設備では、配管経路の
距離、立上げ引下げ 等の平面図で図示できない部分、箇所を
具体的に数値で指示することができます。